



判断力

現在、開催されている「ラグビーワールドカップ 2019」では、日本チームの真剣さ・本気の魂に感動を受けた方は多かったのではないのでしょうか。

彼らの姿が、日本中に、よい意味での「にわかファン」を作り出し、日本のラグビー界にとって大変意味のある大会になったことは言うまでもありません。

10月29日(火)の会礼では、今回の日本ラグビーの活躍の原動力となった「判断力」と天方小学校の「プラス1」と結びつけながら、今後への取組についてお話をしました。



「10月29日(火)会礼の話」

今回も「プラス1」についてのお話です。

でも、学校生活の中での「プラス1」についてのお話ではなく、やっぱり「プラス1」は、どの世界でも大切だなと思ったことについて皆さんにお話ししたいと思います。

今、日本でラグビーのワールドカップという大会が行われていることを知っていますか？日本は、4年前の2015年の大会のときにもずいぶん活躍をしましたが、今回は、それ以上の活躍でした。

世界でも2番目に強いとされていたアイルランドと戦い、19対12で勝ち、また、今まで一度も勝ったことのないスコットランドと戦い28対21で勝ちました。そして、ベスト8といって世界の中でも8位以内に入りました。これは、今まででは考えられない程よい成績なのです。

では、なぜ、日本のチームは、前回の大会よりもよい成績が残せたのでしょうか。

その一番の理由は、一人ひとりの選手の判断力が身についたことだそうです。ラグビーは、面白いスポーツで、ほかのスポーツとはちょっとちがう所があります。ラグビーには、ヘッドコーチというチームで一番偉い人がいます。このヘッドコーチは、もちろん練習のときは、練習内容を考えたり、中心になってチームを作ったりしていきますが、試合のとき観客席にしかいられません。直接選手に指示をすることはしないのだそうです。だから、試合中は、選手たち同士で判断して試合を進めなければなりません。試合中の「判断力」が付いたことこそが、今回の日本チームの活躍の大きな力だったと言われています。

判断力とは、言い換えれば「自分で考え、行動すること」です。これって何かに似てますよね。そうです。天方小で合言葉にしている「プラス1」、「自分がよいと思ったことを実行する」天方小学校で大切にしている「プラス1」は、スポーツの世界でもとても重要だということです。逆を言えば、**「プラス1」ができる人はどんな世界でもやっていけるということにもなります。**

そこで、みなさんに意識してほしいことです。

10月となり、1年も半分が過ぎました。今まで以上に「プラス1」を実行していきましょう。

そして、担任の先生がいないときや指示がない時にこそ、「プラス1」を実行していきましょう。

みなさんにとってのヘッドコーチは、担任の先生、授業が日々の練習です。練習では、いろいろ教えてくれるでしょう。一人ひとりのことを思い、いろいろな練習内容を考えてもくれます。でも、担任の先生が近くにいないとき、先生から指示されない時こそ、この「プラス1」を発揮するときなのです。

たくさん、「プラス1」を実行していきましょう。

